

広報

まつだい

1988/

3月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和63年3月5日

第340号



《人口の動き》

男2,809(-2) 女2,846(-4) 計5,655(-6) 世帯数1,598(-1)

2月末日現在

出生3 死亡4 転入6 転出11

二本立て

水田農業確立対策

水田農業確立対策

六十二年度より始まった水田農業確立対策は、転作目標面積が大幅に増えたにもかかわらず、農家の皆さんの協力によって目標を達成することができました。六十三年度、松代町には、次の米需給均衡化緊急対策とあわせて一四五ヘクタールの配分がありました。(前年比一一〇・五%)
(表一)

表一

(単位: ha)

	水田農業確立対策		緊急対策		合計	
	目標面積	うち他用途米	面積	うち他用途米	面積	うち他用途米
63 年	131.7	8.4	13.3	6.6	145.0	15.0
62 年	131.2	8.4	0	0	131.2	8.4
比較	+0.5	0	+13.3	+6.6	+13.8	+6.6
昭和 62 年度 転作 実績					135.9	8.4

表二 ●部落別 転作目標面積 (単位: a)

字 名	昭和63年度 目標面積	新規転作 面積	字 名	昭和63年度 目標面積	新規転作 面積
松 代	958	—	中 子	61	12
小荒戸	205	23	芋 島	287	34
太 平	222	13	田野倉	487	19
菅 刈	222	17	仙 納	193	19
田 沢	320	—	蒔 平	420	—
小屋丸	128	8	諏訪峠	83	—
池之畑	250	—	寺 田	603	—
下 山	337	49	名 平	182	21
千 年	594	21	蒲 生	837	18
池 尻	223	36	儀 明	946	142
会 沢	208	9	福 島	257	24
清 水	267	14	奈良立	128	7
桐 山	388	—	室 野	1,066	—
蓬 平	782	86	竹 所	352	—
東 山	114	30	峠	945	91
海 老	308	6	木和田原	336	11
犬 伏	573	79	農 協	699	73
孟 地	188	—			
片桐山	121	13			
滝 沢	210	33	合 計	14,500	908

・転作目標面積は各部落の水田面積に一定率を乗じて算出してあります。

・実績の多い部落は、62年の実績を目標面積としてあります。

●新規転作面積は、実績のほかに新規に転作をしていただく面積です。

●10アール当りの助成金

区 分	基本額	加算額
一般作物 (大豆、飼料作物、青刈稲等)	千円 17	千円 20~10
永年性作物等 (果樹、林地等)	22	20~10
特例作物 (一般野菜、たばこ等)	6	5
保 全 管 理	6	—
土地改良通年施行	8	—

部落別 転作 目標面積

町では一月二日に水田農業確立対策推進協議会に諮り、各部落別の目標面積を決めて、農家の皆さんの協力をお願いすることになりました。
(表二)

米需給均衡化緊急対策

今年は

▼ 転作説明会で真剣に聞き入る人たち



米需給均衡化緊急対策

転作の推進にあたって

◎町単園場整備による通年施行の実施

めします。

転作面積が増えることに対

◎他用途利用米の導入

応し町では町単園場整備の対
象面積の基準を現行の三〇ア
ールを緩和し、一年作付けを
休んで園場整備を行なう場合
おおむね二〇アール以上から
補助対象にすることになりま
した。町の補助金を受けて、
通年施行で園場整備をした面
積は転作と認められ助成金も
受けられますので、この際、
園場整備をしながら転作割当
ての消化をされるようおすす
る必要があることから、この
対策が講じられることになり
ました。

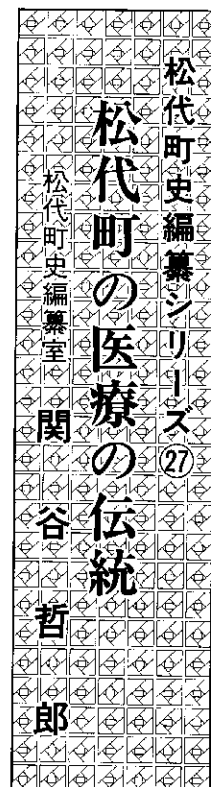
今年も一五ヘクタールの配
分が来ていますので、希望農
家に対して配分をすることに
しております。

他用途利用米は、主食用以
外のみそ、せんべい等の加工
用になる米で、一俵当り政府
買入価格の半額程度ですが、
水田として維持してゆく為
に保全管理やレンコン、養魚な
どの転作をするより収益があ
りますから、対応できる農家
は取り組みをして下さい。

◎転作推進作物について

具体的には、六十三年度で
三〇万トンに縮小する方針で
各県へ配分しました。
松代町にはこの対策分とし
て約五三トン、面積にして一
三・三ヘクタールが先に述べ
た全体の一四五ヘクタールに
含まれて配分されてきました。

山ウドは町の産地形成加算
の対象作物になっており十ア
ール当り五千円の加算金がつ
いており、作付面積の拡大を
推進することになっていきます。
このほか収益性のある大豆や
なす、いんげん、ししとうな
どの作物をすすめていくこと
にします。



東頸城郡医師組合について

明治二十年の衛生記録、徴税村費往復綴（松代外七ヶ村戸長役場）を見ると、東頸城郡に医師組合（医師会の前身）が誕生したのは同年二月二十五日ということがわかります。綴のなかの**医師組合認可願**を現代文で引用します。

医師組合設立認可願

訓令の医師組合手続第七条にしたがい郡内町村内すべての医師が名を連ねて規約等を別紙のとおり定めましたので医師組合を認可してください。

明治二十年二月十五日
東頸城郡安塚村外百六十九ヶ村

医師組合惣代

杉本良伯

石原哲治

新潟県知事

篠崎五郎殿

この認可願に対して県知事からは、

衛第五六二号

書面認可候事（願いのとおり許可しました）

明治二十年二月二十五日
新潟県知事篠崎五郎代理
新潟県書記官

近藤幸止

の許可書が通達されています。

県の指導

明治維新を経過してようやく二十年、戸長役場制度も廃止してやがて一層自治制度をとり入れた町村制を実施しようという国あげて転

換期の時代でした。

近代的な医療組織づくりへむけて県は郡市毎に医療の近代化と、衛生思想の普及のために、県下の医師にその責任と自覚を訴えて医師組合の設立を指導していました。

先きの訓令云々というのがそれです。このようにして明治二十年はじめて郡内の医師が一つにまとまることができました。

東頸城郡内の医師

本郡の医師組合 県の指導によつて最初に組織された医師組合のメンバーは、どんなものであったか。明治二十年の戸長役場記録にはその詳細がのっています。

東頸城郡百六十九ヶ村に医師三十一名。そのうち大平村、坂部東庵、湯本村柳沢良寛は寄留医師で他はすべて村内出身の医師で占められています。

この医師群のうち現松代町内の医師は、田野倉村の斎藤枢卿をはじめ米持宇平治（室

野、井上庄吉（小池村）、小島徳十郎（犬伏）、小島茂三治（犬伏）、松山常盤（犬伏）、富沢玄磐（小荒戸）、若井三平（蓬平）、山岸太郎吉（片桐山）、の九名がおります。

松代町には郡内の現他町村に比較して多い医師が存在したということがわかります。

医師組合の規約

県に提出した組合規約は全二十二条でなっていますが、その中の二、三を紹介します。

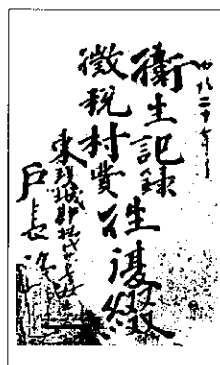
第五条 難病を診察するとき 是処方添えて近くの医師に通報し、その知らせを受けた医師は直ちに参集し、解剖を行ふ時は郡医師組合長に通知し、他の医師も通知を受けたら各自参観（勉強）することと、あります。

第七条 医師組合の集会は年間四回とし、四月一日、六月一日、九月一日、十一月一日とする。とあります。

第八条 一回の会は日数二日とし、午後一時より五時まで、次の日は午前八時より正午までとする。ともあります。

第九条 集会所は安塚ときめて郡役所か添景寺。または賞泉寺のうちいずれかを借用する。となつています。

この時代の医師は、すべて江戸時代の生れです。このうち洋学（蘭学）を学んだ人が何人いたかわかりません。だが、これらの医師は時代の要請にこたえて、産婆さんを養成したり、医師の玉子を育てています。斎精学舎を出た関谷精齋、室岡虎次郎氏らははじめこれらの人に教えを受けました。慈恵医大を出た関谷赫治氏など、近代医学を学び、地域医療に従事した人は今日まで枚挙にいとまがありません。町史はこの点も重視します。



越後まつだい

冬の陣



会場をソッとお見せします

3月12日(土)

- 午後2:00 オープニングセレモニー
 2:50 〔出陣太鼓〕 奴奈川太鼓
 3:00 「乗つとれ! 松代城」 出発
 3:00 ベンジョンソンに挑戦
 4:00 雪上自転車モトクロス大会
 4:40 城主入場
 〔凱旋太鼓〕 松茸太鼓
 5:00 表彰式
 5:40 カラオケ・パフォーマンズ
 6:30 ミュージカル・パフォーマンズ
 「11匹の猫」
 柏崎市 ミュージカルワーク
 ショップ
 8:10 鳥追いカーニバル
 どんど焼き点火
 雪中花火

食いだおれ横丁

後2:00～後9:00まで

◎特設の駐車場があります。
 係員の指示により駐車して下さい。
 路上駐車は絶対しないで下さい。

◎会場内での買物は専用のチケットを場内でお買求め下さい。
 なお、チケットは当日のみ有効で残ったチケットについては払い戻しいたしません。

3月13日(日)

午前 9:00 開 場

- 雪上車・雪国列車
- 熱気球 ●スノーシューター
- 10:00 スノーワールド・クエスト
- ①アイテムを探せ 10:30～11:00
- ②人間コリントゲーム 11:20～12:00
- ③妖怪ランドの決戦 1:00～1:40
- 10:30 こまあしやるモデル撮影会
 (10:30～12:00と1:00～2:30)
- 12:00 雪上アトラクション
 (1:00まで)

午後 2:00 もちつき大会

2:40 閉会式

スノーワールドクエスト表彰式
 ふるさと会員の認定式
 隠し文字点火
 風船打上げ

食いだおれ横丁

前9:00～後3:00まで

スキー大会結果

デツカイ土産 距離の松代高校
国体で牧田二位、柳二位、渡辺五位

第四十三回国体冬期スキー競技会（岩手県安代町田山ク로스カントリーコース）で二月二十五日松代高三年、牧田義明君（峠・藤田屋）が居並ぶ強豪を相手に距離少年15kmで堂々の二位入賞を果たしました。北海道旭日川で行われたインターハイ大会では残敗していただけに、今大会で借りを返したことになります。

なお、松代高出身の渡辺博文選手（日体大・糸魚川）が成年男子一部A 15kmで五位、柳時夫選手（自衛隊・小屋丸）が成年男子二部15kmで二位とこの日はまさに松代高校デーとなりました。

三月八日からの青森県での全日本選手権でも是非、距離の松代高校の名を轟かせて下さい。

齊藤真也君（松代中）

上石杯を制す

第2回上石杯スキー大会

期日 一月三十一日
会場 町民グラウンド

▼中学男子10km（101人）
優勝 齊藤真也 33分19秒3
（松代中三）
十位 佐藤政秀 35分39秒9
（同）

▼中学女子5km（33人）
七位 柳 明美 22分12秒7
（松代中三）
八位 柳 妙子 22分31秒9
（同一）
▼小学校男子5km（259人）
五位 山岸裕樹 19分44秒5
（奴奈川小六）
六位 石口知之 19分49秒7

（松代小六）
▼小学校女子3km（191人）
八位 宮沢真由美 12分44秒
7（松代小六）
九位 村松智恵美 12分45秒
8（儀明小六）

第33回 町民スキー大会

期日 二月十四日
会場 少林寺山スキー場
町民グラウンド

○アルペン
▼大回転（小六男）
①柳 伸宏 1分7秒2（松）
②齊藤晃也 1分8秒4（同）
③相沢貴弘 1分11秒1（同）
▼同（小五男）
①村山由貴男 1分10秒1（同）
②室岡秀貴 1分14秒0（同）
③柳 宏明 1分22秒1（同）
▼同（小六女）
①関谷美雪 1分16秒4（同）
▼同（小五女）
①室岡真悠子 1分16秒9（同）
②相沢星子 1分17秒3（同）
③小堺知子 1分19秒4（同）
▼同（中学男）
①村山政仁 1分2秒6
②若井孝幸 1分2秒9
③柳 志朗 1分8秒5

▼同（中学女）
①相沢みどり 1分12秒5
▼同（一般）
①小島昭夫 1分6秒7
②柳 正春 1分9秒5
③村山達三 1分12秒2
▼同（小六男）
①齊藤晃也 43秒5（松）
②南雲一彦 46秒0（同）
③樋口朋一 52秒8（同）
▼同（小五男）
①村山由貴男 48秒1（同）
②室岡秀貴 51秒2（同）
③樋口隆夫 51秒9（同）
▼同（中学男）
①若井孝幸 41秒2
③柳 志朗 43秒4
▼同（中学女）
①相沢みどり 52秒2
▼同（一般）
①小島昭夫 41秒3
②室岡茂男 1分0秒4
○距離
▼女子2km（小五）
①宮沢真由美 8分8秒6（松）
②高橋久美 8分17秒0（荻）
③柳満智子 8分25秒5（孟）
▼同（小六）
①村松智恵美 7分54秒6（儀）
②下坂美香 8分14秒1（奴）
③高橋陽子 8分25秒9（松）

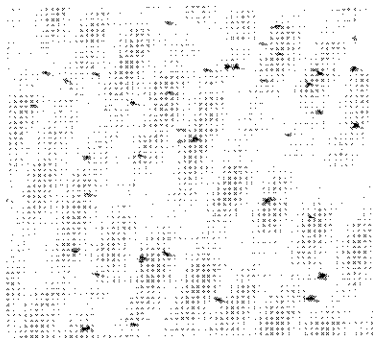
▼男子3km（小五）
①宮沢直人 11分38秒1（松）
②関谷 真 11分57秒5（同）
③相沢智幸 12分3秒6（同）
▼同（小六）
①高橋将和 10分29秒8（荻）
②山岸裕樹 10分34秒6（奴）
③石口知之 10分43秒6（松）
▼中学男子5km
①齊藤真也 20分18秒1
②若井憲一 21分22秒7
③山賀淳一 21分39秒0
▼中学女子3km
①柳 妙子 12分15秒5
②山岸弘美 13分56秒6
▼混成リレー
①助平小 26分7秒4
②蓬平小 28分29秒0
③北山小 29分23秒4
▼男子リレー
①松代小A 23分23秒0
②蓬平小A 23分52秒0
③奴奈川小 24分52秒7
▼女子リレー
①松代小A 25分53秒6
②孟地小A 25分56秒6
③奴奈川小 26分6秒6

松代町の野鳥

シリーズ⑬

ヒヨドリ

松永 洸



▲群をなして移動するヒヨドリ

松代町では普通に観察され、探鳥会では、鳴き声が大きく、他の鳥の声が聞けないことから、嫌われ者のこの鳥は、スズメ目ヒヨドリ科に分類され、亜種として、エゾヒヨドリ、アマミヒヨドリ、リュウキユウヒヨドリ、イシガキヒヨドリ、タイワンヒヨドリ、ダイトウヒヨドリ、オガサワラヒヨドリ、ハシブトヒヨドリがあり、ヒヨドリ科に、シロガシラという鳥もおります。ヒヨドリという鳥は、どんな鳥

でしょうか。大きさは、ムクドリ（松代町では、ギヤーギヤー鳥と呼んでいるようです）と同じ位ですが、尾が長いので、全長ではムクドリより大きくなります。全身暗青灰色で、下面には淡色の斑があり、翼、尾はやや暗色で頬は、茶色斑があり、嘴は、細長く頭部は、ぼさぼさ頭をしております。同じヒヨドリでも、北の地方の個体は淡色、南方の個体は、黒味が強く、沖縄諸島のものは非常に暗色であることが知られています。新潟県には、ヒヨドリとエゾヒヨドリが棲息しています。ヒヨドリの鳴き方は、ピーーヨ、ピーーヨと鳴き甘い物が大好きで、果物、花の蜜などを好んで食べます。かわったところでは、餌台に置いた、ミカン、リンゴ、パン、ドーナツ

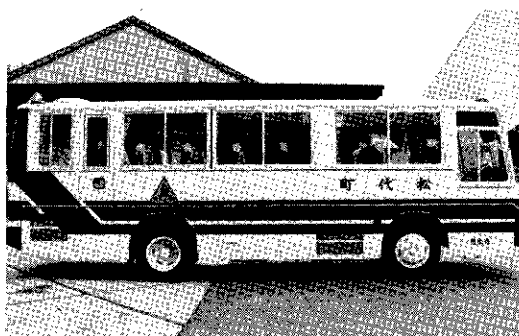
なども好んで食べます。私もミカンの輪切りを木の枝にさしておいたら、三、四日後にヒヨドリが食べに来て、その後時々姿を見せてくれます。松代町では普通に観察されますが、緑の国勢調査では、松代町に繁殖の確認はありません。これはたまたま調査時に確認できなかっただけのことだと思います。

昨年の松代町の野鳥を見る会（会長佐藤公男公民館長）が、城山で月例探鳥会を行った際、ヒヨドリの北上群を観察しましたが、松代上空を北上する群もあることがわかり、春と秋の通過コースが異なるのではないかと思います。ヒヨドリは漂鳥ということで、夏は山地で営巣し、冬は平地に降りてくる生活をしていましたが、最近では環境に順応したのか、町が棲みやすいのか、山地に帰らず都会の、民家の庭木や、マンションのベランダの植木に営巣するものがあり、時々マスコミにぎわしています。

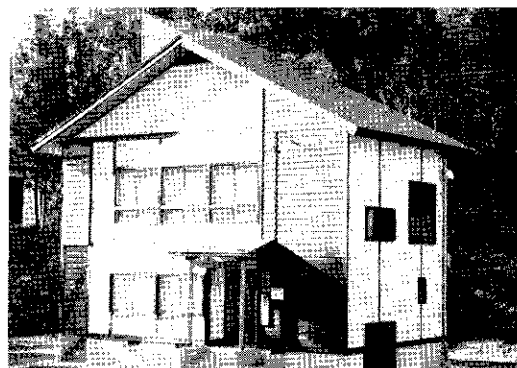
巢は、木々の葉もかなり茂ったころの五月ころで、木の

町が融資を受けた事業

・松代水道管布替工事	390万円
・消防自動車、ポンプ購入	580万円
・除雪ドーザー購入	620万円
・仙納集落開発センター建築	1,070万円
・城跡公園整備事業	980万円
・田野倉除雪機械車庫建築	170万円
・町道改良・舗装工事	1億4,140万円
・犬伏保育園増築工事	580万円
・スクールバス購入	830万円
合 計	1億9,360万円



▲最新型のスクールバス



◀会合に利用される
仙納集落開発センター

私たちの地域に役立つ

「簡易保険」と「郵便年金」

郵便局では、皆様の簡易保険、郵便年金の積立金の一部を、公共施設整備のために町村等に融資しています。昭和六十二年度松代町においてもこの資金の融資を受けて次のような事業が実施されました。

小枝、つる、樹皮、シダ類、草の茎、根などを使って椀形の巣を作ります。そして朝早く、一日一卵を生んで、三、四個を産み、雌が温め始めます。ヒヨドリの繁殖生態を調査した人の報告では、雌は三〇分ほど抱いて、一〇分ほど単を離れ、食事をし巣にもどる時は、巣を中心に一ヘクタール程のナワバリを防御している雄と一緒にいて来て、雌が巣に入るのをみとどけるということがわかっています。雛は、一三〜一四日で孵化し、親は、トンボ、セミ、チョウ、ガの成虫、チョウ、ガの幼虫、クモ、カタツムリなどのほか、サクラやウグイスカグラの実



を与えています。雛への給餌で、セミやオニヤンマなどの大きい昆虫を与える時、雛の口に入らず、何度も引っぱり出して向きを変えて押し込んだり、雛の上下の嘴を軽くはさんでやって飲み込むのを助けてやることもあるということです。親から、一生懸命餌をもらい孵化後、一〇〜一二日後に単立ちします。しかし一人前のヒヨドリになるには、きびしいしつけと訓練を受け、孵化後一カ月位を必要とし、親離れするのです。ヒヨドリの雌雄は、同色で野外では区別が付きません。最近になって標識調査をするにあたり、区別の必要性から研究したと

ころ、やっとみつきり、それは翼長の長短による方法です。翼長が一二八ミリメートル以上のものは雄で、一二六ミリメートル以下は雌であることがわかったのです。その中間の一二七ミリメートルの場合は、胸部、下尾筒の色彩により区別するのです。しかしそれも、翼を測定しなければならぬので野外では、この方法ではむずかしいようです。

ヒヨドリは、春、秋には移動する群が観察され、特に秋の五〇〜一〇〇羽、あるいはそれ以上の群が柏崎市上空を移動する様子は、みごとです。写真は、枝に止まってやすむヒヨドリと、もう一枚は、移動する群の写真です。この写真に何羽写っていますか、かぞえてみて下さい。最後に長塚 節のヒヨドリの歌でこの項を終りたいと思います。

竹林は草も茗荷も黄葉して
あかるき雨に
鶉ぞなくなる

4月から保険料が
改定されます

月額 **7,700円** (付加 **8,100円**)

国民年金

国民年金の保険料が、今年四月から月額七、七〇〇円になります。付加年金加入の方は、月額八、一〇〇円となります。

国民年金は、加入者の方が老齢となったとき、年金を支給し生活の安定をはかることが第一の目的です。そのため年金水準は一定に保つ必要があります。

近年、年金受給者が増加し、また、年金額の物価スライドにより年金の支払い額は増え、この先も増え続けることが予想されます。

年金の支払い財源は、みなさんの納める保険料と国の負担などにより賄われています。国民年金制度を健全に運営していくための保険料の改定でありますので、加入者の皆さんご理解をお願いいたします。

くらしにやくだつ
おしらせひろば

所得税の申告と納税はお済みですか

昭和六十二年分の所得税の申告と納税はもうお済みでしょうか。申告と納税の期限は三月十五日(火)です。必ず期限内に済ませて下さい。

なお、振替納税により預金口座から納められる方は、四月十一日(月)に指定口座から引き落しされます。

NHK学園高校生徒募集

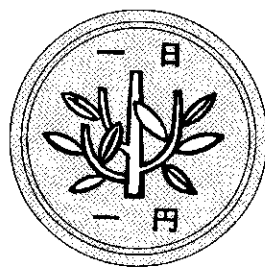
NHK学園高等学校では、六十三年度の生徒を募集しています。

NHK学園高校はテレビ、ラジオを利用して学習する広域通信制高校で、四年間で高校卒業の資格が得られる「高校普通科コース」、特定の科目だけを選んで単位を取る「選科生コース」、それに希望する科目を自由に学習する「教養コース」などがあります。どこ

の科目も基礎からスタートするので、中学卒業後、長いブランクがある人でも支障なく学習を進めることができます。

また、書道や俳句、油絵など一般社会人を対象とした「生涯学習講座」もあります。

受講案内(無料)はハガキで、NHK新潟放送局(〒951 新潟市川岸町一―四九)へ。



昨今の交通事情の激変により、日常生活において交通事故の心配は切り離せない状況となりました。

不幸にも昨春秋、室野地内において死亡事故が発生しました。町内における事故件数も着実に増えて来ています。

「万が一」の交通事故に備え家族そろって交通災害共済に加入しましょう。

一人一年間

三百五十円の掛金

○会費(掛金)

大人も子供も年額三百五十円(途中加入も同額)

○共済期間

四月一日から翌年三月末日まで(途中加入者は会費を

一人ひとり

交通ルール守れば事故は無し



納入した翌日から)

○申し込み方法

三月中旬に、部落区長さん(又は隣組長さん)から加入申込書が配布されます。

加入申込書にはあらかじめ世帯員の氏名等が記入されています。加入しない氏名等は線を引き、また転入された人等で加入したい場合は空欄に記入し掛金を添えて申し込んで下さい。

対象となる

交通事故は

○見舞金が給付される事故

・日本国内における交通事故により死亡・傷害を受けた時(自動車・自転車・歩行中などあらゆる場合)

交通災害共済は

会員相互の

助け合い……

○見舞金が給付されない事故

・故意による事故
・重大な過失(飲酒運転、速度違反、無免許運転等)
・天災地変

見舞金請求は

一年以内に

・万一事故に遭われて七日以上の人院・通院治療がある方は早目にご相談下さい。

不明な点は、役場総務課交通安全係へ



県立高田南城高等学校 通信制過程生徒募集

働きながら、主として自宅で学習する通信教育により、高等学校卒業の学力と資格を得ることができます。

一入学資格

中学校卒業（卒業見込）又は、同等以上の資格を有する人。性別・年齢制限なし。

二募集コース

①卒業コース（卒業資格を取得したい人）

②科目別コース（卒業資格を目的とせず、実力と教養のための勉強）

三募集学科 普通科

四願書受付期間

昭和六十三年四月八日まで

五授業料 無料（ただし、生徒会費等で年間五千円は必要）

卒業コースは教科書も無償。

六奨学金

奨学金・修学奨励金の貸与制度あり。

※入学案内、入学願書は返信用封筒（70円切手をはり宛名を明記）を同封し左記へ請求する。

〒943 上越市南城町三丁目三一八 県立高田南城高等学校通信制まで。

電話料金後払いのクレジット通話を

全国どこからでも料金後払いで電話がかけられます。詳細についてのお問い合わせ

せは、安塚電報電話局（電話二二五〇〇）へ

越後まつだい冬の陣

写真コンテスト

松代カメラクラブ主催の写真コンテストが行われます。カメラをお持ちの皆さん、あなたの腕をためしてみませんか。

広報紙に掲載。
三応募先

町公民館（総合センター）

四締切り

昭和63年3月31日（木）

五表彰

・最優秀賞 一名

・賞状・賞品・トロフィー（大）

・優秀賞 三名 二

・賞状・賞品・トロフィー

・松代町長賞 一名

・賞状・賞品・楯（以下同）

・カメラクラブ会長賞 一名

・松代町教育長賞 一名

・松代町公民館長賞 一名

六主催

松代カメラクラブ

七後援

越後まつだい冬の陣実行委員会、町公民館

囲碁大会

去る二月十一日、囲碁大会が総合センターで行われ、二十人の碁士が腕を競いました。結果は次のとおり。（敬称略）

◎Aブロック（三段～一級）

一位 寺崎直孝（松代）

二位 丸山恵一（蒲生）

三位 横尾好和（峠）

◎Bブロック（三級）

一位 小堺陽七郎（室野）

二位 柳 久義（松代）

三位 島田健司（千年）

◎Cブロック（三級～五級）

一位 佐藤達夫（室野）

二位 植木直栄（松代）

三位 高橋清丸（福島）

◎Dブロック（六級～九級）

一位 小堺喜一（蒲生）

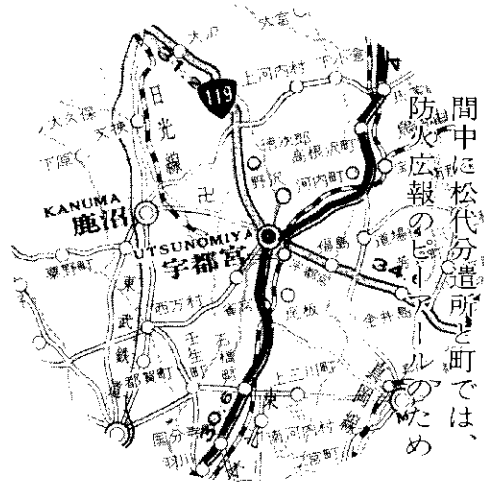
二位 小池政明（鉄建公団）

三位 富田能民（鉄建公団）

お詫び

松代町長寿者番付中で、東序二段、関谷サンさん、儀明は松代の誤りです。訂正してお詫びいたします。

山を越えた風船 親戚づきあいの使者に



▲稲川さんから松代保育園児全員にリボンで飾られたノートがプレゼントされた

昨年、秋の火災予防運動期間中に松代分遣所と町では、防火広報のビデオの放映のため、風船に小さな願いをこめて飛ばしました。

十月二十八日、午前十一時半、松代保育園児九十二人の小さな手から離れた「火の用心」の願いと保育園名、園児名の書かれた風船は、上層の気流に乗り、わずか三時間半で栃木県まで飛んで行ったの

です。その中の二個が拾い主の手により、NTTや郵便局等で調べられ、我松代町であることがわかりました。

拾い主の一人は、栃木県上野原市栗野町に住む金子欣一さん。風船の主は若月恵ちゃん（千年・坂・若月信幸さん二女）で、以来、金子さんと若月さんの家族ぐるみの付き合いが始まりました。手紙のやり取りの他、若月さんが米・そばなどを送ると栃木名産のかんぴょうとこんにやくなどが届きまさに親戚同様。

「機会があったら是非一度」とお互いに往き来に乗り気です。

もう一人の拾い主は、栗野町の隣の鹿沼市に住む稲川政一さんと鈴木麻子ちゃん（松代・はちぜん・鈴木誠一さん長女）の手を離れた風船。

稲川さんが地区の消防団や

今月の表紙

二月十四日に町内スキー大会が町民グラウンドと少林寺山スキー場で行われました。

町民スキー大会として今年

保育園の役員を務めていることから話がトントン拍子に進み、先月の二月十日奥さんと二人で雪の松代にやって来ました。

「寒いのは慣れっこそですが雪の多いのに驚きました」。

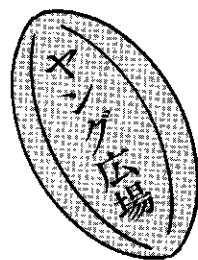
今年は雪が少なくて有難いですよとこちらが言ってもピンとこない様子。

稲川さんは午前中に松代保育園で園児に会った後、午後から分遣所と役場へ。秋山町長はじめ役場関係者と談笑し鈴木さん宅へ一泊。

「子供が大好きで、本当に明るい性格の人でした。のっぺなます、いっちゃっば汁をおいしいおいしいと言って食べて行かれましたよ」と鈴木さん。

山を越えて栃木県と松代の家庭が風船で結ばれた心温まる話題でした。

から小学校スキー大会を含め一本化されました。一般の方々の参加を増やし大人から子供まで一日楽しめる大会にしたいですね。何しろ雪には不自由しない松代町ですから。



“こたつって いいもんです”

関谷 武久

知に働けば角が立つ。情に悼れば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

住みにくさが高じると、安い所に引き越したくなる。どこへ越しても住みにくいと悟った時詩が生まれて、画ができる。人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣にちらちらする。(草枕 夏目漱石より)



ヤング広場裏話

「もしもし、〇〇さんですね」
「はい、そうです」
「役場の広報を担当している

私も堅い文面で飾ろうと思うのですが、性格的に軽い者ですから。この広報まつだいやング広場に掲載するのかわかると、まずい、非常にまずい……。えんぴつをなめなめ書いていますしだいです。

今年は暖冬ではありましたが、二月になると雪も沢山降り松代の景色になってしまい、そして、私も毎年この季節になるとこたつの中で顔だけ外に出しその前にテレビのスイッチ、みかん、菓子、お茶等、準備万端にして、立っているものは親でも使えとばかり口と手だけ動かす毎日です。

そんな生活をする今日では、電化製品をはじめ、季節や、時間も朝晩の区別もなくなり者ですが、実は……
「エッ、私、ダメです。カンペンして下さい。」と、用件を言わないうちに断られるの

食べものなど季節感がなくなってしまう淋しい事です。飽食の時代ではあるが、心も飽食な人々の町であってほしいと、こたつの中で思う訳であります。

「こたつにばかり入ってないで、体動かさせてやそ」

母に怒られては、もともとと体を出し雪ほりだ。

確かに、こたつに入っていると時間をもったいなく使ってしまうと思う。ただ弁解ではないのだが、おっ様(長命寺住職、恩恵を込めて)が、高校時代に「人間皆んな二十四時間あたえられている」と言われた事を覚えている。その時は、だから充実した生活をしろと言うんだらうと思う

は、皆さんがこの欄を読んでくれていると喜こんでいいのでしょうか。
近頃、ふられる回数が多く

ていましたし、今でもそうだと思いますが、それに加えもう一つあるんです。金持ちも貧乏人も平等に、二十四時間だという事で、時間は金で買えないぞ。『ざまあみろ』(又、同じ時を生きた)と変に心が安むという事です。もったいない時間は、私にとつて充実した時間でもあり、落ち込んだ時にその言葉を思い出す時間でもある訳です。

「さて、こたつから出るぞ」

例年のように松代町から、若者が流出する時期になり淋しくなります。先月号の中沢さんではないですが、なんとか人口の流出を防ぎ活気のある町になつてもらいたいものです。

P・S

私事の文面で終った事をおわびいたします。

なりましたが、負けずにアタックします。是非挑戦を受けて下さい。

戸籍の窓口

幸せ多い人生を(結婚)

米持 博・金 玉女

(室野・前田)

げんきなよい子に(出生)

岩崎知里 父一成・母泰子

(長女・松代・善宗塚住宅)

高野竜人 父與四郎・母町子

(長男・松代・与志乃)

冥福(死亡)

宮澤リヤウ 78歳

(松代・たいさま)

山賀 ミエ 76歳

(松代・東屋)

柳 クニ 95歳

(大伏・池ノ窪)

中村 俊正 62歳

(儀明・兵右エ門)

(1/21~2/20受付分)

